

# 千葉市日中友好協会の活動について

—民間・草の根の友好活動の必要性について—

千葉市日中友好協会会長 布施 貴良



## 1. 市日中の設立と活動経過

千葉市日中友好協会は、1970年に旧日本社会党の故星野昌世県議会議員や、同故鈴木俊輔千葉市議会議員を中心に、労組役員や中国帰国者が会員となり結成されました。その当時は、日中国交回復をめざし、千葉大学の中国人留学生の支援や、中国物産展等の活動を行っていました。

その後、日中平和友好条約が締結され、日中関係が政府、経済界で積極的に展開されてくる中で、日中国交回復と友好親善を進めるという民間での友好活動の意義が薄れ、会員の高齢化と減少という組織の停滞を生じ、新しい友好活動の在り方を見出すことが課題となりました。

2002年に私が、千葉市日中友好協会の会長を引き受けてから、従来の千葉大学留学生との交流事業に加えて、千葉市の友好都市である、天津市と江蘇省呉江市（現蘇州市呉江区）との市民交流にも力を入れています。また最近では、中国の自治体レベルでの経済や文化面での交流、視察希望が増加していることから、新たな友好活動の課題として取り組んでいます。

また、千葉市議会日中友好促進議員連盟が、2011（平成23）年に結成され、千葉市日中友好協会に団体加盟したことから、各種友好事業・行事に市議会議員も積極的に参加するようになり、議員連盟と連携して活動の厚みを増していきたいと考えています。

## 2. 千葉市友好都市との交流

千葉市と中国の都市との友好交流については、1986（昭和62）年天津市、1996（平成8）年江蘇省呉江市（現蘇州市呉江区）と友好都市となっています。両市とも友好都市調印後の周年事業の実施を始め、職員の研修員の相互派遣、経済、文化、スポーツ交流を行っています。千葉市日中友好協会としては、市民訪問団の派遣を通じて様々な交流の促進をめざしてきました。

天津市に関しては、2011年10月18日千葉市と天津市が友好都市25周年を迎えたことを契機に、千葉市日中友好協会として市内での緑化事業と、大賀ハス、カキツバタ等の「日本式水生植物小園」を100万円相当の事業費で寄贈を申し入れ、「天津千葉友好植物園」設置に関する覚書を締結しましたが、「尖閣列島問題」による日中関係悪化のあおりと植物防疫上の問題もあり残念ながら、事実上白紙となってしまいました。しかし、市民交流関係については絶やすことなく、関係の維持に努めました。千葉大学に留学して学位を取って帰国し、その後2014年7月に天津市の副市長に就任した曹小紅氏を、千葉大学で当時指導教官だった古在元学長や留学中の生活を支援し「留学生の母」と称された地元ボランティア女性の就任祝いの手紙を携え、私が表敬訪問し歓迎を受けたほか、2015年に同市で倉庫爆発事故により多数の死傷者を出した際には、お見舞の手紙を送りました。



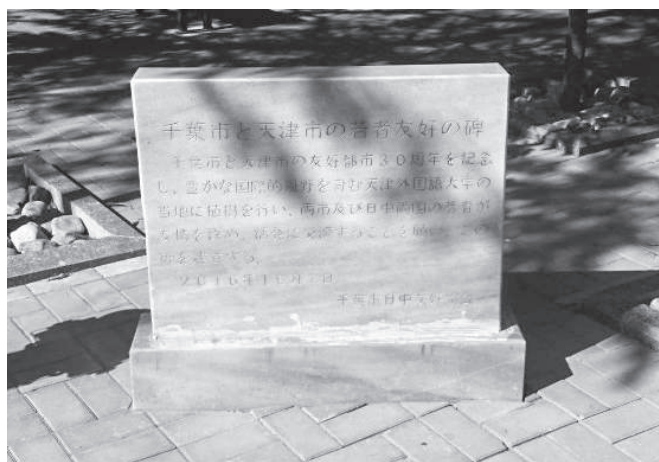
天津外国語大学日本語学部の学生と



天津市人民政府外事弁公室訪問



修剛天津外国語大学学長と植樹



天津外国語大学に設置した千葉市天津市若者友好の碑

2016年、天津市の天津外国語大学との協議に基づき、千葉市と天津市の友好都市30周年を記念し、同大学内に桜の植樹と両市「若者友好の碑」を設置しました。なお、この経費約50万円は、2012年3月天津市に大賀ハスを送り緑化協力事業を行うため「緑化協力と水生植物園寄贈事業募金」として市民の皆様にご協力を頂いたものであり、いったん凍結状態にしていた資金がようやく活用できました。

天津外国語大学への桜の苗木植樹と「若者友好の碑」設置を踏まえて、2017年8月に天津市訪問団14名を派遣し天津市表敬訪問、天津外国語大学への「一日留学」として同大学修剛学長、専任教授から「中国史と日本」、「現代中国の発展 一帯一路構想」について講義を受け交流しました。

なお、天津市訪問に先立って、「中国の今を知

る」をメインテーマに、「中国経済の更なる成長：新たな国家戦略・政策と深セン市の起業を通じたイノベーション」を演題として、アジア経済研究所の木村公一朗研究員を講師にお願いして講演会を開催しました。

蘇州市呉江区との交流については、千葉市と呉江市との友好都市締結の翌年、1997（平成9）年10月に25名の市民訪問団で友好訪問し、2018年4月千葉市議会日中友好促進議員連盟で、呉江区への訪問を行いました。呉江区の1997年の訪問から21年後の姿は、「田園都市」から、「近代的大都会」へと変貌を遂げていたのは驚きでした。

### 3. 千葉大学中国人留学生との交流

中国人留学生との交流は、主として千葉大学の

中国人留学生と行っています。千葉大学には、4年制学部学生、修士・博士課程の大学院生を合わせて約500人が学んでいます。千葉市日中友好協会は、「中国人留学生会」を通じて交流事業を実施しています。主なものは、2月の「春節を祝う会」、4月の「お花見会」、7月の「1泊サマーツアー」、秋の「日帰り旅行」等です。また、千葉大学の留学生会が中心となり、東京等の大学の留学生にも呼び掛け、市日中の会員も参加して千葉市美浜区の稲毛の浜の海岸清掃ボランティアを行っています。留学生が受け入れ地域に感謝し、地域になじむ活動を行っていることも紹介します。

#### 4. 高校生、地方政府・経済人の訪問受け入れ

数年前から、当協会に対して高校生、地方政府・経済人の訪問要請が相次ぎ、その受け入れに努めているところです。それらについて、時系列的に紹介します。下表のとおり、近年は高校生の修学旅行での訪問や、地方政府関係者の経済目的、文化交流目的での訪問交流を望む申し出が増加しており、このような日中友好協会の新たな任務をどのように担い、草の根の交流拡大につなげていくのが課題となっています。



撫順第10中学校の地元盆踊り大会参加



撫順第一中学訪問団



千葉大学附属病院を視察する北京医師団

#### 高校生の交流

|         |                                                           |
|---------|-----------------------------------------------------------|
| 2016年7月 | 中国遼寧省撫順市の第10中学校(高校)から、生徒54名を含め総勢60人が、千葉市立稲毛高校を訪問。         |
| 2017年6月 | 上海市にある私立小中高校一貫学校「尚徳実験学校」の中学生150人が、千葉市立稲毛高等学校付属中学校を訪問交流。   |
| 2018年2月 | 撫順市第一中学校が稲毛高校に訪問交流。                                       |
| 2018年7月 | 撫順市第10中学校が2度目の来日、稲毛高校と交流、69名の生徒が地元の盆踊り大会にも参加、日本の夏を堪能して帰国。 |

#### 地方政府・経済人関係の交流

|           |                                                                                                  |
|-----------|--------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 2016年8月   | 日中友好協会の紹介と同行で黒竜江省五大連池市の政府関係者4名が北海道農業研究本部を訪問し、寒冷地における稲作について視察し、帰途千葉市役所も表敬訪問。千葉市日中友好協会役員と県日中役員と懇親。 |
| 2018年8月   | 遼寧省鳳城市から党書記(市長)他3名が、国内のタイヤメーカー等企業視察と商談の来日を仲介。                                                    |
| 2018年9月8日 | 北京市から、本年9月医師の団体約40名が2班に分かれて、千葉大学の視察を仲介。                                                          |

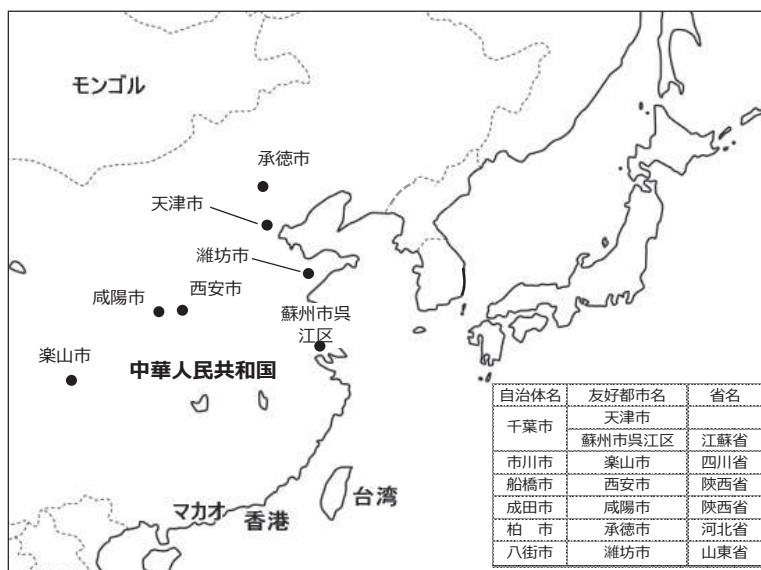
## 5. 今後の草の根・民間レベルの友好活動に向けて

千葉市日中友好協会の結成当時は、日中平和友好条約の早期締結実現を主たる課題として、中国帰国者等の様々な中国への思いの中で、中国人留学生の支援、中国物産展を通じた中国の紹介、親しみの醸成活動を行ってきました。その活動は、今日の活動の基礎となっているところです。

今日の中国は、既にGDPで日本の3倍に達して、なお年6%台半ばの経済発展を続け、IT等先端の科学技術分野でも日本を追い越し、アメリカに追い付く勢いです。政治的にも、「一帯一路」路線を掲げ、アジアにおける政治・経済の主導権を確立しつつあります。このような中国の台頭について、国内的にはこのことを認めて実務的に経済関係を強化しようとしている動きとともに、中国の発展に目を向けようとしないうか、快く思わずか、日米関係を強化し政治的軍事的に中国に対抗しようとする動向もあります。しかしながら、2017年における日本の貿易相手国としては、中国がアメリカを上回って第1位であり、経済的結びつきが増々増大しています。このことから、日本及びアジア全体の安定と発展のために、日中の友好協力関係が極めて重要と考えます。

私たちは、市民レベルの活動を中国友好都市の市民同士の交流を軸に、経済、文化、スポーツ、観光等重層的に積み上げることが必要であると思っています。県内では、千葉市が天津市と蘇州市呉江区と、船橋市が西安市、市川市が樂山市、柏市が承德市、成田市が咸陽市、八街市が濰坊市とそれぞれ友好都市となっています。これら県内都市の友好都市活動を交流し、他の都市にも広げ、日中の友好都市が網の目のように広がり、行政だけで

図表1 千葉県内自治体の中国における友好都市



出所：千葉県HP「千葉県及び県内市町村の姉妹都市提携状況（平成28年4月現在）」  
(<https://www.pref.chiba.lg.jp/>) 2018年9月25日アクセス、をもとに千葉県地方自治研究センター作成

なく市民同士が相互に日中の友知人をつくり、それぞれ市民交流を発展させることが出来たら、素晴らしいと思います。そのことは、両国の国民感情の改善につながると確信します。

千葉市日中友好協会は、これまでの活動の在り方を総括し、従来の正会員の他に、年会費1,000円程度の賛助会員制度をつくり、若い仲間を迎えて新たな、草の根からの日中友好活動をめざして、活動を充実させたいと思います。

### 布施まさよし プロフィール

- 1947年 千葉県横芝光町に生まれる。
- 1966年 千葉県立匝瑳高等学校卒業後、千葉県庁に入職。自治労千葉県職員労働組合中央執行委員等を務める。
- 1972年 県職員を辞し、旧日本社会党千葉総支部職員となる。
- 1979年 千葉市議会議員選挙に立候補し初当選。
- 2002年 千葉市日中友好協会会長に就任
- 2015年 千葉市議会議員10期目当選